

商学科

人材養成および教育研究上の目的

商学科は、商学、特に流通・マーケティング、情報・サービス、交通、金融・保険、商業史の広範な分野の理論を学ぶことを通して、時代のニーズやその動向を多面的な視点から考察し、実務においても対応できる基礎力と現実の社会やビジネスでの問題の解決策を発展的に展開できる構想力とその実践力を身に付けることで、社会に貢献できる人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

商学科は人材養成の目的を達成するために、

1. 主体性を発揮できるとともに、目的を持って取り組むことができる人
2. ビジネスや社会の問題に興味・関心があり、商学的な視点からさらに調査・分析をしようと思う人
3. データなどを整理・分析できる論理的・数学的素養を持っている人
4. 地域や社会をベースに、企業や行政などの組織でリーダー的存在として活躍することを目指している人

の入学を求めています。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

商学科では、商学という幅広い専門知識を身につけるとともに、ビジネスリーダーとして不可欠な“観察”“構想”“実践”の能力を磨きながら、地域や社会で活躍できるように、次のようなカリキュラムを編成します。

1. 1年次における「基礎ゼミナール」や各専門分野の入門科目を配置し、社会との接点との関わり方や社会を考察する複眼力を身につけるように工夫します。
2. 専門科目については、体系的に、かつ総合的に学修できるカリキュラムを用意します。
3. 全学年にわたり、少人数をベースにした学生主体の「ゼミナール」を設置して、科目において学んだ専門知識や理論をさらに、深めていくとともに、グループでの活動を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など社会で求めら





れる基礎力を養うことができるような場を提供していきます。

❖ **ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）**

商学科は、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 商学の専門知識、理論および実務基礎力を習得し、地域や社会を観察できる能力
2. 修得した能力を活用するとともに、地域や社会の問題を発見し、それを発展的に解決できる能力
3. 社会の一員として地域や社会の発展に貢献するために主体的かつ協調的に行動する能力

